

# 令和5年度 那須議会フォーラム（寄居・富岡地区）

## 意見に対する回答

※意見に対する回答は、常任委員会が町所管課にヒアリング等を行い、委員会の認識としたものを掲載しています。

### 総務産業常任委員会所管

#### ◎代表的な意見

（農林振興関係）

○意見…鳥獣被害の対策を進めて欲しい。

●回答…猟友会80名ほどの協力を得て捕獲などを行っている。現在狩猟免許取得補助やわな政策に対する補助を行い支援している。

まだまだ被害が出ているので、なお一層、議会として支援を要望していく。今後は、猟友会からの意見も聞いていきたい。

（建設関係）

○意見…今後の町道の草刈りを含めた管理方法、ガードレールの清掃など検討して欲しい。

●回答…1つの地域に限定し予算をつけることはできないため、関係地域の方々に協力を依頼し、問題解決に努めていく。

（ポスト）

○意見…自然村近辺にポストを設置してほしい。

●回答…日本郵政では近年、新設よりも集約する方針で進んでいる。使われていないポストの移設という方法が可能性としてあるが、いくつかの条件を満たさなければならないため、議会としても設置に向け交渉など行っていく。

#### ◎参加者からの意見

（防災・自治会）

○意見…高齢化で部落の集まりの経費も負担が大きい。町で軽減できないか。

●回答…集落の集まりの際の経費補助については、現状考えてはいない。

○意見…移住して21年、周辺の農地が耕作放棄地となり、町道に雑草が覆いかぶさっている。草刈りを町に言っても地権者でやって欲しいと言われてしまう。業者に依頼するなどの政策があって欲

しい。移住定住の政策を重視して欲しい。富岡地区は地区民で除草作業をしているが、高齢化が進み作業人の確保が大変。

●回答…町としては今後の大きな課題ととらえているが、予算の問題もあり、現状は地域の人をお願いしたい。

（選挙）

○意見…投票所の集約、合併についてはやむを得ないのかなと思うが、高齢者の投票所までの移動手段は真剣に考えて欲しい。

●回答…投票所までの移動手段確保についても検討を開始している。選挙・投票所に関する様々な法的な制約、ルールの中で、着手できるものがないか模索していく。

○意見…投票所でのスリッパへの履き替えが高齢者は大変です。何か工夫して欲しい。

●回答…地域の投票所は場所を借りて使用しており、雨天時の泥などで施設を汚してしまうなど地域に迷惑をかけてしまうことも予想される。期日前投票所は履き替えが不要なのでそちらを推奨していきたい。投票所床へのラバーシートの設置などは、今後検討していきたい。

○意見…水塩大久保の町道に防犯灯がない。町道に毎年ワンカップ等のゴミが捨てられている。

●回答…防犯灯については各自治会に設置・管理をお願いしている。

民家が少なくかつ危険な場所も存在しており、総務産業常任委員会ではこういった箇所の解消に向けた町の関与も必要であると考えている。ゴミがおかれる状況については、予防鳥居（道路沿いやドライブインなどで見かけるミニ鳥居）の設置も有効であると考えている。

（農林振興関係）

○意見…農地の維持について、寄居地区は基盤整備が進んでいる。しかし農業後継者、担い手、認定農家がない。特に中山間地域の今後の維持管理を含め、いかに農業を守っていくか検討してほしい。

●回答…中山間地域の圃場は面積が小さくまた周辺道路が狭いなどスマート農業を進める上でも不利な条件下にあるものの、中山間地域直接支払交付金事業においては、中山間地域にあったICT導入支援も含まれており、本町の現状にあったICT導入を推進していく。

○意見…再生協議会が打ち出した減反政策の見直しが流れているが、長い間減反している土地に水張りは不可能である。見直しを町として訴えて欲しい。

●回答…国の指針が不明確で制度運用が目まぐるしく変化している状況にあり、推移を見守っている。

○意見…補助金、交付金に力を入れて欲しい。補助金で支えられない部分を政策提言として欲しい。

●回答…国、県の補助金自体は多数存在するものの、要件が厳しかったり、本町の現状にそぐわないものが多く利用ができていない現状である。

要件の緩和や見直しを議会としても訴えていく必要がある。

（建設関係）

○意見…町道の張り出した樹木をどうにかして欲しい。

●回答…場所の特定ができなかったので、議会総務産業委員会で現地を確認し対応を検討したい。

（観光商工）

○意見…黒田原駅前のみんなの店は、赤字で閉店の噂があるが高齢者の居場所として残して欲しい。

●回答…当面継続していく。

（その他）

○意見…奈良川の中の大きな石は撤去してもらえないか。更に撤去してほしい。

●回答…今後要望があれば対応していく。

○意見…上水道事業についてですが、寄居地区まで水道が入ったが、排水管の径が75mmのため消火栓がつけられない。現在の防火水槽は管理が大変であり、地下型の防火水槽などの検討をして欲しい。

●回答…地下型の防火水槽の要望があれば設置を検討する。

## 民生文教常任委員会所管

### ◎代表的な意見

（除去土壌集約関係）

原発事故に伴う除去土壌等については、町内の住宅や公共施設等の敷地内に現在も一時保管している状況です。

町は、これらの除去土壌等を1カ所に集約することで、保管者の負担解消や管理の効率化、管理体制の強化を図るため、集約候補地についての調査を進めてきました。

上記の調査結果を踏まえ、安全性、効率性、周辺環境への影響などを総合的に評価した上で、令和5年5月20日に周辺地域の住民や関係者を対象に説明会を開催しました。現在も個別に対応している状況です。

今後、国等関係者と調整を図りながら、安全で、町民の皆様に安心いただけるよう、集約事業の具体化を進め議会としても継続的に注視して参ります。

（交通関係）

急速に進む少子高齢化や人口減少への対応など、持続可能なまちづくりと一体となった公共交通体系を構築することを目的とし、「那須町地域公共交通網形成計画」を策定し、国等の支援を受けながら、デマンド型乗合交通及び那須町民バスの見直し等、地域公共交通活性化を目的とした事業を展開してきました。以上の状況を踏まえ、「暮らしやすい那須町」の実現に向け、地域の交通資源の活用、持続可能性、まちづくりとの連携等に留意した「地域公共交通計画」を策定し、引き続き国等の支援を受けながら、地域公共交通活性化を目的とした事業展開を進めて参ります。

また、令和5年10月から令和6年9月まで、特定の地域にお住まいの方のご自宅と指定目的地間のタクシー料金が定額になる「那須町定額タクシーサービス」の実証運行を実施しています。

（景観）

本町の豊富な景観資源の保全を目的として、快適な生活環境を次世代に継承していくことで『那須町景観計画』が策定されました。さらなる適正な指導と管理を推進するため、那須町景観計画及び那須町景観条例の一部を改正し、工作物の定義のなかに「太陽光発電施設」を追加いたしました。

また、良好な景観の形成が特に必要とされる景観形成重点地区内については、太陽光発電施設に関する個別の景観形成基準を設けております。

議会としても町の動向を注視してまいります。

## ◎参加者からの主な意見

（その他）

○意見…少子化対策を進めて欲しい。若い人の働く場所がないのでは。

●回答…本町の人口は今後減少傾向が続き、2045年には15,241人まで減少すると予想されています。今後、若者の働く場所の創出に向け議会として定住促進も含め企業誘致に努めます。